

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102245
法人名	石井オアシス・ケアサービス有限会社
事業所名	グループホームおあしす
所在地	松山市北久米町1004番地7
自己評価作成日	平成26年9月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年10月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的で穏やかな生活を送る事ができるよう、いつも、暖かな気持ちを持って対応することを心掛けています。入所者様、ご家族様共に信頼して頂けるような施設であり、いつでも気兼ねなく来設頂けるようなホームを目指して努力しています。
笑顔と言葉づかいには特に留意し、気持ちの良い環境であると思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●近くの高等学校から、生徒が実習や放課後ボランティアで来てくれている。近所のひとり暮らしする90歳を超える方は、ご自宅で丹精された鉢花やプランターの花を時期を見ながら持参して玄関周りに飾り、楽しませてくれている。事業所前の通りは、犬を散歩させる人が多く、職員の方から声をかける等して顔見知りの方も増えているようだ。
●現在、利用者が出かけられるような支援に力を入れておられる。「飽がほしい」という方には、ご本人が納得いく飽を選ぶようにスーパーに付き添うようなこともある。調査訪問時、午後のおやつ前に利用者一人ずつ散歩に出かけられるよう付き添っておられ、摘んできたエノコログサを瓶に挿して話題にされていた。散歩コースに、つくしが生える畦を見つけ、利用者を取って帰り、みなで袴取りして食事に添えたこともある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 石井オアシス・ケアサービス有限会社

(ユニット名) グループホームおあしす

記入者(管理者)

氏名 村上 道子

評価完了日

平成26年 9月 25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎日、笑顔で過ごしていただけるよう、個々の様子に合わせて「尊厳・優しさ・笑顔」の理念の下、頑張っており、取り組んでいる。	
			(外部評価) 事業所理念を玄関に掲示して、管理者は、職員に「ていねいな言葉遣い」や「相手の立場に立ち考えること」等を話しており、又、管理者自身もケアの現場に入り示しながら導いておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 例年通り、町内の行事参加・近くグループホームあゆみさんとの交流、城南高校・福祉科の学生との交流など充実した活動ができています。又、散歩中に地域の方々と交流する機会も増え入所様の楽しみとなっている。	
			(外部評価) 近くの高等学校から、生徒が実習や放課後ボランティアで来てくれている。近所のひとり暮らしする90歳を超える方は、ご自宅で丹精された鉢花やプランターの花を時期を見ながら持参して玄関周りに飾り、楽しませてくれている。事業所前の通りは、犬を散歩させる人が多く、職員の方から声をかける等して顔見知りの方も増えているようだ。管理者は、「まずはホームを知ってもらいたい」と話しておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で日常悩んでいる事を相談、意見を聞かせて頂いたり、地域で認知症の方への理解を求める行事に参加している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、参加者はからは毎回活発な意見、情報等、数多く寄せられている。それをもとに職員間で意見交換を行い、より良い意見を出し合い、サービス向上に向かうよう取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、町内会長や民生委員、ご家族、いきいきサロンの方等、又、玄関周りに鉢花等を飾ってくださる近所の方も参加されており、防災対策について話し合った際には、昔のこの辺りの様子等を話してくださった。11月には会議後、メンバーも一緒にいも炊きを楽しまれた。又、5月には、連携を開始した訪問看護事業所の方達が参加して、活動内容の説明や熱中症対策等について話してくださった。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では市の担当者や地域包括支援センターの方から、様々な意見やアドバイスを受けている。地域包括支援センター主催の研修会には職員が参加し他の事業所との交流もできケアサービス向上に向けた情報交換の良い機会となっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センター主催の研修や、地区のケアネット等にも参加して他事業所とともに勉強をされている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>拘束は行わないとの目標をあげ、個々の身体状況に合わせた環境を提供させて頂いている。ご家族にはよく説明し理解を得られるよう話し合いの機会を持っている。今後も拘束をしないケアに取り組んでいきたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関は鍵を掛けず、居室等の吐き出し窓も網戸にして換気等されていた。車いすを使用する方が複数あり、座りっぱなしにならないように、昼食後は、居室で横になる等、休憩する時間を設けており、調査訪問時には、職員が居室へ誘導等されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 入居者に対しての言葉使い、接し方など日常の業務の中で注意し合いながら業務に当たっている。また、ミーティング勉強会で、職員がストレスを抱えていないか話し合い、情報を共有し、尊厳を保持しながら安心して過ごせる環境の提供に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 後見人制度については皆が理解出来ているまでには至っていない。今後ホーム内での研修課題として取り上げたい。自立支援については、随時援助の状況により話し合いを持つことができている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前及び入所時に、なるべく理解して頂ける様話す様に努めている。来設時には、ご家族様との会話を持つ事で、気になる点等あればその都度説明出来る様努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族から「職員の氏名や顔がわかりにくい。」という指摘を受け玄関に職員の名前入りの写真を掲示し、当日の勤務者を分かるようにした。 入所者の意見や要望等はミーティング時に職員に周知している。 (外部評価) お花見やいも炊きの際には、ご家族にも案内されている。管理者は、ご家族の来訪時等、「何でも言ってくださいね」と意見を聞いており、ご家族からは、「よく見てもらっている」「落ち着いているね」「開け放っているのがいいね」「個別でしたいことをしているね」等の感想があるようだ。利用者個々に担当職員を配置しており、担当職員が毎月利用者の様子を手紙にして、管理者からの手紙と併せて送付されている。担当者が替わることも手紙で伝えている。	管理者は、ご家族と「何でも言ってもらえるような関係」を作りたいと考えておられる。ケアパートナーでもあるご家族との関係作りに向けて、ご家族が事業所にかかわるような機会作りをすすめてみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティング・個別にいつでも意見、質問を聞き易い状況である様努めている。	
			(外部評価)	
			管理者は、職員とともにケアにかかわりながら、「分からないことがあれば聞くように」と話しておられる。日々のケアの中や毎月のミーティング時に出た職員の意見や提案は、話し合いながら取り組みをすすめておられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			管理者は職員の気持ちや身体状況など、話しができるような環境作りに努めている。また、半年に1度評価シートを使い、職員の向上心や、技術など正しく把握できるような方法も取っている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			オアシス合同勉強会、外部の有料講習会への参加推進、ミーティングでの問題提起、対策によりスタッフのスキルアップに努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム交流会には参加できるよう配慮している。その際、様々な意見交換を行いサービス向上に向けての取り組みの参考としている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所者ご本人や、ご家族の意見を重視し、把握できる範囲でこれまでの人生(職業・家族構成・趣味・病歴など)を考慮したうえで、コミュニケーションを通し更なる利用者理解に努め、安心できる関係性を築けるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者ご本人の前では病気のことやこれからの施設での過ごし方などは話せないため、ご本人を交えずご家族の要望や思いを伺う環境を整えている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状態、希望等お聞きし、支援出来ている。対応が、難しい状況の時はここで出来る支援を理解して頂き、ご本人・ご家族が安心出来るサービスに努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 常に利用者様に声をかけコミュニケーションに努め、利用者様が何を求めているか、何を感じているかという事を見極められるように心がけている。また、互いにより関係を築けるよう支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の報告や行事参加への声かけに努め、普段から電話やホームへの来設時、ご本人の支障のない範囲でご家族との話す時間を持っている。また、月に一度、ご家族宛てに近況報告を兼ねて手紙を送付している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ホームは常に来設しやすい環境であるよう努めている。ご利用者のご友人も来設する機会が増えた。 (外部評価) 歩行可能な利用者は、ご家族が迎えに来られて、行きつけの美容室や買い物に出かけておられる。日舞を習っていた利用者の方には、時々、仲間が訪ねて来られており、居室でおしゃべり等して過ごされている。利用者の方は現在、車いすを使用されているが、廊下で歩行練習に励んでおられ、「踊りを練習して、また発表会に出たい」と話してくださいました。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 個々の性格があり、また現在女性の比率が高いためか女性同士の間で、言葉の暴力や些細な口喧嘩などがあるものの、その都度スタッフが見守りや間に入る等してお互いが傷つくことが無いように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も、ご家族の人とのお手紙や必要なサービスの情報などの提供に努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の日々様子をみながら、ご本人にあった生活が送られるよう会話したり、共に行動したり、訴えを聞いたりして把握できるよう努めている。	利用者のこれまでの暮らしぶり、現在の暮らしの意向、今後の暮らし方の希望を探っていく取り組みに力を入れていかれてほしい。管理者は、職員が得ている利用者個々の生活歴の情報をまとめるような表を工夫したいと話しておられた。
			(外部評価) 管理者が交代した昨年春から新しいアセスメント様式にて、毎月「食事、清潔、排泄、睡眠」等の支援状況や職員の気付きをまとめておられる。職員は、聞き出すことが難しい利用者については、今後、細かい部分にも気を付けて観察し、何度も言うことや表情等から、さらに思いや意向を探っていきたいと話しておられた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時、家族よりお話しをして頂き、ご本人がよりよい生活が送れるよう、スタッフ同士で情報交換を行っている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の介助の中で観察を行い、個性を尊重して生活状況、歩行の状態、食事の様子などを把握し、ご本人にあった支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			介護計画は記録時必ず見る状況とし、援助の内容で疑問問題が出ると、スタッフから意見がある。また毎月のミーティング時個々の報告・問題点について話しあっている。	
			(外部評価)	
			管理者は、介護計画作成前には利用者に「何かしたいこと、言いたいことがあれば言ってね」と尋ね、計画に反映できるよう努めておられる。利用者は、「食事もおいしい、よく眠れるし、何も言うことないよ」と言われることが多いようだ。現在は、介護計画内容に番号を振り、日々の介護記録内のモニタリング欄の番号に○を付け、支援の進捗状況が分かるようにされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			申し送りファイルに日々様子で変化、介助の変更を詳細に記載しスタッフが同じ援助が出来る様努めている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			ご本人にとって、どうすれば毎日快適に過ごすことができるか、常に考えながら援助するようにスタッフ一同努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			夏休みに近くの城南高校福祉科の生徒との交流、いもたき会でご家族を交えての食事会、訪問美容師さんが2ヶ月に一度来設など、入所者の楽しみとなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族の意向を確認の上適切な診察を受けている。前回の問題点である夜間救急の対応も、訪問看護師の活用により相談できる体制ができた。	
			(外部評価) 今年5月から訪問看護と連携して、利用者の健康を管理する体制を整えられた。又、協力医療機関の「在宅課」の医師が往診に来ており、利用者個々に、担当する医師の顔写真と往診日を示した用紙をくださっており、それぞれの居室に貼ってあった。利用者の病状や状態について気軽に相談できることで、安心して利用者を受け入れることができるようになったようだ。利用者の中には、以前からのかかりつけ医に、ご家族が付き添い受診する方もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 医療連携の体制をとることにより、利用者が適切な受診や看護を受けられるようになっている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院に関しては、近くの生協病院の協力の下必要に応じて入院出来る様になっている。入院中、退院時ともに当スタッフの対応に加え医療連携により訪問看護師と医師との連携が綿密にとれている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 往診の先生とご家族(可能な方は本人)との間で話し合い、その結果に沿った支援協力を得ている。	
			(外部評価) 昨秋、ご家族の希望もあり利用者を看取られて、事業所で初めての事例となった。利用者は、日常生活の中で静かに逝かれ、職員は経験を通じて、「利用者の様子の観察等、いつもとの違いに気付くことの大切さ」を学ばれたようだ。ご家族には「同意書」をとり、看取りの意向をうかがっており、現在、「お任せします」と希望するご家族もあるようだ。医師から余命を告げられた後には、再度話し合いの場を持ち、方針を共有して支援されている。現在、ご家族が医療行為を望まず事業所で過ごしている利用者は、居室で横になって過ごす時間が多いが、一日に15分は居間でみなど過ごせるよう支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年2回の消防訓練を主体としながら、その中で緊急時対応についての指導や講話をうけている。10月にスタッフ全員で救命講習、初期対応の訓練を予定している。11月には、社内全体でのAED使用の研修を予定している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は年に2回実施しているが、夜間時の対応については検討事項である。今年度より、飲料水、食事を3日分災害時のために備蓄している。 (外部評価) 3月の地域防災訓練は近くの高等学校で実施されており、生徒が利用者を迎えに来てくれて、半数の利用者が参加されている。数ヶ所の居室の吐き出し窓には、利用者が出られるように階段を取り付けている。玄関には、AED(自動体外式除細動器)が設置されている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 介助時には、個々に適した方法での接し方、声かけを行い、入所者様が気持ちよく生活できるように心がけている。不適切な声かけや接し方をみかけたら、スタッフ同士で注意し合い改めている。 (外部評価) ご家族が利用者に会いに来られた時、さみしさを感じる方もあるようだが、職員は利用者の方の近くに居て個々の表情や言葉を気にかけており、ご自分のご家族のことを話すような場面があれば、じっくりお話を聞くようにされている。おやつ の時間、時には、何種類かのパンをお見せして選んでもらうようなこともある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) コミュニケーションを密にし自己決定や希望を表出しやすい環境をつくり、できる範囲で家族の協力も得ながら対応している。 表出が困難な場合は、選択肢を提案しながら対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 援助の際には、必ず言葉かけをしながら援助している。入所者の意思確認を行いながら支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に美容師に来設してもらっている。更衣の際も入所者自身が選択できるように支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個々の咀嚼および摂食能力に合わせた食事形態や用具を提供している。食事の準備などは、入所者様のできる範囲で参加してもらっている。食事が楽しい雰囲気となるように入所者と職員は同じテーブルを囲んでいる。季節や行事に合わせたメニューも取り入れている。	現在、利用者から食事への不満はないようだが、利用者一人ひとりが食事をさらに楽しめるような工夫について考えてみてはどうだろうか。利用者個々の以前の食習慣や好み、得意だった料理や懐かしいもの等、一緒に作ったり、味わったりしながら支援に工夫を重ねていかれてほしい。
			(外部評価) 日曜日以外は、決まった献立で業者から食材が届くようになっており、事業所で味付けやアレンジしながら食事を作っておられる。利用者はジャガイモや玉ねぎの皮むきや、もやしの根とり等にかかわることもある。日曜日は、利用者の希望を聞いたり、職員が把握している利用者の好み等を採り入れ食事を作っておられる。食事がすすまない利用者が、数日前のお寿司は好んで食べられたようで、メニューを変更して調査訪問時もお寿司を作っておられた。昼食前には口腔体操等をされていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の水分や食事摂取量を把握し、職員間で情報を共有しながら支援している。 一人ひとりの食習慣や好みを把握し、入所者様が健康に過ごしていただけるように支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声かけ、介助を行い清潔に努めています。 また、定期的歯科検診にて、歯科医の指示の下、個々注意していく事の、指導を受ける事ができている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 日中は紙パンツを使用しているが、食事の前後に声かけを行い、トイレでの排泄に向けて支援している。夜間はセンサーマットを活用し転倒防止に努めながらポータブルを使用している。定時のパット確認も併用しながら個々の排泄パターンの把握に努めている。</p> <p>(外部評価) 排泄状況に合わせて、声かけしたり誘導して支援されている。シーツの上に防水シーツを敷き対応されたり、ポータブルトイレを置いている居室もみられた。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日常の食事に青汁や飲むヨーグルトを取り入れている。また、朝食には、お茶寒天を提供している。難しい時は緩下剤を使用している。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 個々の希望した時間での入浴に対応するには課題が多いしかしながら、入浴時は一人ひとりがゆっくりと入浴できるようにしている。入浴されない方には、足浴などで対応している。石鹸なども個々の皮膚の状態に合わせたものを使用している。</p> <p>(外部評価) 現在、入浴を嫌がるような利用者はいないようで、個々に、週2回以上入浴できるよう支援されている。入浴しない日は、寝る前に足浴や体を拭く等されている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 室温・湿度調節に注意を払っている。寝具は定期的に干している。パジャマの洗濯もこまめに行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの薬の説明書をファイルにまとめて、職員がいつでも確認できるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 調理の下ごしらえ(じゃがいもの皮むき・もやしの根取り)や食事の準備、洗濯物たたみなど利用者様のできることをお願いしている。毎日のレクリエーションは、利用者が楽しんで参加できるように工夫し皆の笑顔を引き出すことができています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日、全ての利用者様の希望に沿った外出支援は困難な状態である。しかし、現状で可能な範囲で近隣への散歩や、ホームでの行事を実施している。 可能な利用者様は、ご家族の協力を得て外出支援も実施している。	
			(外部評価) 現在、利用者が出かけられるような支援に力を入れておられる。「飴がほしい」という方には、ご本人が納得いく飴を選べるようにスーパーに付き添うようなこともある。調査訪問時、午後のおやつ前に利用者一人ずつ散歩に出かけられるよう付き添っておられ、摘んできたエノコログサを瓶に挿して話題にされていた。散歩コースに、つくしが生える畦を見つけ、利用者と一緒に取り、みなで袴取りして食事に添えたこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現状では本人が常時所持することは困難であるため、ホームで預かっている。必要に応じてご家族の了承を得て買い物援助している。 外出時は利用者様自身で財布を持ち、ご家族と共に買い物を楽しめるよう支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯電話はホームで保管し、利用者様がかけたいときに使用できるように支援している。 手紙については担当スタッフが月に1度近況報告を兼ねご家族に送付するようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 毎日の掃除で清潔を保ち、グリーンや季節の花を飾るなどゆったりとくつろげる空間を保つように支援している。また、壁面装飾を利用し季節感を演出している。</p> <p>(外部評価) 居間には3つテーブル席を配置しており、利用者個々に席が決まっている。席の近くの手すりにご自分用のティッシュを置いたり、ペットボトルで作ったごみ箱を掛けて使っている方もあった。車いすを使用する方が複数おられるが、「椅子より、車いすの方が楽」と言われるようで、車いすで食事等もされていた。足元に足置きを使用する方もあった。居室入り口には、顔写真とともに「やさしくて笑顔がよい」等、個々の紹介文を貼っておられる。玄関から外を眺めることが日課になっている方もある。ソファーには、編み物が得意な利用者がかぎ針編で編んでくださった、色とりどりのソファーカーバーをかけておられた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 食堂兼居間にソファーを設置している。この場所は利用者様にとりおしゃべりをしたりテレビを觀賞するなど、思い思いの好きな事ができる空間となっている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 居室は一人ひとりが大切にしてくられた物や使い慣れたものを持参していただき、安心できる空間になるようにこころがけている。入居後も毎月作成したカレンダーや家族との写真・動物の写真を飾ったりしているが、入所様にとって更に愛着のある居室づくりになるように工夫していきたい。</p> <p>(外部評価) シーツは一週間に1度程度、交換できるよう支援されている。お好きな演歌歌手のカレンダーを貼っている方もいる。窓からは田畑が見えて、季節の移り変わりを眺めることができる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) ご自分で行動出来る方は、出来る事・したい事を本人のペースでできるように支援している。他の方にはスタッフから会話や運動等を働きかけ、できることを活かして支援している。随時見守りや介助にて安心した環境の中生活して頂ける様に支援している。</p>	